

令和5年度 会派調査研究報告書

(視察先1箇所につき1枚)

会 派 名	日本共産党上田市議団
事 業 名	「第51回議員の学校」研修会へのZOOMによる視聴
事 業 区 分	①研究研修 ②調査

1 上田市での課題と研修・調査の目的

令和6年度当初予算を審議する上田市議会3月定例議会前に、国の令和6年度予算の概要および特徴、さらに地方財政への影響などを正確につかみ予算審議及び市政の運営に活かすために参考にするために研修会を受講した。

2 実施概要

○開催状況は以下の通りです。

日付 / 時間帯 / 場所	視 聴 方法	
2月5日 10:00～15:45 集中講義1 集中	ZOOM 視聴	<p>(講義内容) ◇集中講義1 「予算審議のツボ①—自治体財政の基本を叩き込む—」 森裕之氏(立命館大学教授)</p> <p>自治体財政は「予算至上主義」ともいわれるように、毎年度の予算審議こそが議会活動の最も重要なテーマです。この予算審議の前提となるのは、自治体財政の基本を正しく理解していることです。</p> <p>この基本は非常に単純な原則で誰でも理解できるものですが、それをきちんと身につけることなく予算や決算の審議にのぞんでしまっていないでしょうか。また、自分は理解していると思い込んでいる場合もあるのではないのでしょうか。こうした場合、議員活動で最も大切な予算審議においても、結局は表面的な財政情報に振り回されるだけで終わってしまうことになってしまいます。</p>

<p>講 義2 実 践 報 告と 提 言</p>	<p>集中講義1では、自治体財政の基本を徹底的に身につけてもらいます。これさえマスターすれば、予算の中身の根幹が簡単にわかります。これは議員としての最大の武器となって、皆さんの活動を支える原動力となります。</p> <p>自治体財政の知識を確固としたものにするには繰り返しが非常に大切です。</p> <p>◇集中講義2</p> <p>「予算審議のツボ②—2024年度の地方財政計画と自治体予算」 森裕之氏(立命館大学教授)</p> <p>日本の財政は国が根幹部分を掌握しているため、自治体は国の予算の一部として決定される地方財政計画に基づく財源の分配を受け、それに独自財源である地方税等を合わせて予算を決定しています。そのため、予算審議をきちんと行うためには、地方財政計画で示される重点政策等の予算措置を正確に理解しておく必要があります。その際に必要となるのが、集中講義1での自治体財政の基本です。集中講義2では、集中講義1でマスターする自治体財政の基本をさらに具体的な予算審議で活用できるための知識を学ぶとともに、それを2024年度(令和6年度)の地方財政計画との関係で具体的にみていきます。これによって、自治体財政の基本が現実の予算を通じて生きた知識となり、それを予算審議で応用していけるヒントなどを紹介します。</p> <p>◇実践報告と提言</p> <p>「議員活動を振り返りながら—2期目の挑戦」</p> <p>伊藤英人氏(東京都奥多摩町議会議員)</p> <p>伊藤氏は、多摩町議会議員選挙に2015年、36歳で通常選挙に立候補し落選、2016年(37歳)で補欠選挙に再び挑戦したが落選。2019年40歳で初当選。2023年(44歳)で再選される。</p> <p>1期目の活動実績として、①観光産業の振興、②移住定住政策、③子育て支援、④災害に強い森林づくり、⑤安心安全の道路・交通インフラなどについて紹介があった。</p>
--	---

5つの当事者目線で課題を解決します!

いとうひと 4年間の 取り組んだこと 実現したこと

次の世代への
いとう
ビジョン

1 観光産業の振興 新たな観光スタイルの推進

観光業 従事者 52%

オーバーツーリズム対策

観光公害（オーバーツーリズム）への警戒と対策を継続して要望しています。

観光ゴミ対策事業として、観光客専用有料ゴミ袋の販売がはじまりました。

※スピーカー付きドローンでの啓発活動が実施されました。

新しい観光スタイルの推進

観光客と地域が協力して地域の価値を高める新しい観光スタイル・サステナブルツーリズムの推進を提言しました。

観光客向けゴミ袋

観光産業だけでなく地域全体の経済・社会・環境が持続し発展する観光立町を実現します!

いとう
ビジョン

2 移住定住政策 ・関係人口の輪を広げる

移住 当事者 52%

ふるさと納税の申込み方法の改善

ふるさと納税の申込み方法のネット対応化を要望しました。

ふるさと納税 ポータルサイト

2022年11月1日からネットに対応した結果、2022年度ふるさと納税額は大幅アップしました。

受入件数: 627件
(前年比 883.1% アップ!)

受入れ額: 9,840,000円
(同 513.8% アップ!)

※年度途中からの変更なので、今後はさらなる増額が期待できます。

いとう
ビジョン

奥多摩町の魅力を活かし、住みたい町、選ばれる町にします!

3 子育て支援を アップデート

現役子育て 当事者 52%

産後ケア事業がスタート

産後うつや孤独な子育てにならないよう、頼れる親族が近くにいない核家族や共働きなどの子育て世代への支援策を要望しました。

※奥多摩町子育て世代包括支援センターが設立されました。

※産後ケア事業がスタートしました。(交通費も含め自己負担なしでサービスを利用できます)

おむつ無償化・保育費での持ち帰り廃止を提言

おむつの無償化、保育費でのおむつ記念・持込み・持ち回りの廃止を要望しています。

おむつの購入・保管・持ち運ぶ労力を減らします。

いとう
ビジョン

地域みんなでいきいきと子育てできる環境をつくります!

4 災害に強い森林づくり ・林業の再構築

林業 従事者 52%

災害に強い森林づくりの事業化を提言しました。

※町の安定した産業化・移住者の就労先として林業振興を提言しました。

いとう
ビジョン

東京イチの森林資源、水資源を持つ自治体・奥多摩町だからできることを推進します!

5 みんなが安心安全の道路・交通インフラ、空家対策

空家・万世橋の整備計画

長年進展のなかった古里の「万世橋」の歩道の安全確保について、地元意見と将来展望などを含めて東京都に要望しました。

東京都職員が現地視察を行い、「万世橋」の整備計画が開始しました。

空家対策事業への提言

丹三郎定住対策事業（14区画の分譲地として町が販売予定）に関連して、バス路線や日照確保など周辺環境整備について提言しました。

いとう
ビジョン

高齢者、子ども、障がい者の不安に寄り添った政策提言をします!

2月6日 10:00~15:30 ZOOM 視聴 集中講義3 新シリーズ講義(1)

(講義内容)
 ◇集中講義3
 「予算審議のツボ③—予算審議のポイントと今後の自治体財政」 森裕之氏 (立命館大学教授)

2024年度の予算審議のポイントについて、さまざまな視点を交えながら講義していきます。自治体の政策や予算には一意的な「正答」は存在しません。だからこそ、自治体は多くの人々の思いを「大切な価値」とともに体現した予算をつくらなければなりません。そうした「大切な価値」は議員同士の間でも異なるものであり、住民の思いを背負う議員はそれを予算審議の場において説得的に行政に意見していくことが求められています。

財政はこのような多様な「大切な価値」を実現させていくための手段です。逆にいえば、この手段の知識と論理を欠いた予算審議は説得力がなく、言葉だけの陳情要求にもなりかねません。集中講義3では、どのような「大切な価値」であっても、それを効果的に主張していくための財政の論理の組み方をわかりやすくお話しします。

また、予算は一年間だけのものであることから、自治体は中長期的な見通しも持ちながら予算をつくらなければなりません。議会の予算審議においてもこの点は重要です。そのため、集中講義3の後半では今後の自治体財政がどのようになっていくかを考慮しながら、2024年度の予算審議で留意すべき点について検討していきます。

		<p>◇シリーズ講義〔1〕</p> <p>「社会保障関係予算の動向と自治体の福祉施策」</p> <p>石川満氏（「議員の学校」学校長、多摩住民自治研究所理事）</p> <p>2024年度の国の社会保障関係予算は引き続き給付費の抑制が進められています。子ども未来戦略では、児童手当の拡充等が実施されますが、その具体的な財源確保策は必ずしも明確ではありません。医療保険関係では、診療報酬本体はマイナス改定となりそうです。またこれまで以上にマイナ保険証の利用促進も進められます。介護保険制度では、一定所得以上の2割負担利用者が大幅に増え、老人保健施設等の室料負担も求められます。</p> <p>そのほかにも、自治体の福祉施策に影響することが少なくありません。これらについて議会でどのように住民の暮らしを守るための議論を進めるか、考えます。</p>
--	--	--

◆上田市政に活かせる課題等

<講座の内容及び上田市に活かせること>

① 令和6年度地方財政対策のポイント

- ア 一般財源総額確保等
- イ 定額減税による減収への対応
- ウ こども・子育て政策の強化に係る地方財源の確保
- エ 給与改定・会計年度任用職員の勤勉手当支給に要する地方財源確保
- オ 物価高への対応

以上について資料を使って詳細に説明を受けたので、このことを踏まえた質疑、提案をする参考としたい。

- ② 地方自治体の参考例として、京都市と明石市の例が紹介された。市政の運営と財政や人口問題などに大きく影響していることが分かりやすく説明された。これも、今後の上田市政に活かしていきたい。
- ③ 令和6年度の社会保障関係費予算の動向、子ども・子育て政策の強化（加速化プラン）の財源の基本骨格、令和6年度介護報酬改定・障害福祉サービス等報酬改定、介護保険制度改革などについて詳しい説明を受けた。上田市における子育て支援、福祉施策に参考にしていきたい。

①案内チラシ

2024
2/5(月)
/6(火)

第51回
議員の学校

●主催 NPO法人多摩住民自治研究所
ハイブリッド[オンライン+会場(最大定員100名)]
「見逃し配信あり」(2024年4月末まで)

●会場:都立多摩図書館セミナールーム
(JR中央線・武蔵野線 西国分寺駅より徒歩7分)
<https://www.library.metro.tokyo.lg.jp/access/#tama>

自治体の政策や予算には、一意的な「正答」は存在しません。だからこそ、自治体は多くの人々の思いを「大切な価値」とともに体现した予算をつくらなければなりません。議員としての最大の武器、生きた知識と論理の組み方を身につけましょう!

- 1 よくわかる! 森裕之教授の予算審議のツボ①
自治体財政の基本を叩き込む
- 2 そうだったのか! 森裕之教授の予算審議のツボ②
2024年度の地方財政計画と自治体の予算
- 3 わからないを発見! 森裕之教授の予算審議のツボ③
予算審議のポイントと今後の自治体財政
- 4 新シリーズ! 石川満新校長の“社会保障&社会福祉講義”
社会保障関係予算の動向と自治体の福祉施策

よくわかる自治体財政の
基本とその課題

2024年度国の予算・地方財政計画の
動向と自治体予算審議のポイント

ご期待ください!

「議員の学校」とは 多摩住民自治研究所[多摩研]の「議員の学校」は、「住民と地域に役立つ地方議員になりたい」という議員の皆さんの声にこたえ、「政党会派を問わずに、だれもが参加できる学校」として始められました。平成21(2009)年のことです。幸いにして、各地の議員の皆さんの積極的なご参加と、協賛された各分野の講師の方々のすぐれた講話によって、かけがえのない歩みを重ねてまいりました。